

【事業名】 北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業

【目的・概要】
訪日外国人観光客の旅行形態は、団体旅行からリピーターや個人旅行へと変化し、その趣向やニーズは多様化している。日本の他地域に比べ、本道に優位性のあるスポーツを核としたツーリズムの振興を図ることで、新たな本道の旅の魅力を創出し、安定的に来道客数を増加を図る。

【事業内容】
1 現状・課題等

- ・本道は、夏季の冷涼な気候及び冬季のパウダースノーなど、日本の他地域と比べスポーツツーリズムの推進に適した環境を有している。
- ・外国人観光客の観光消費の拡大を図るためには、滞在日数の増加が効果的であり、こうした本道ならではの環境の中で楽しむことができるスポーツや大会をPRし、来道動機を高め滞在日数の増加を図っていくことが重要である。
- ・一方で、本道はアジア各国・地域から観光地としての認知度は高い一方、スキーを除いてスポーツに適した地域としての認知度は高いとはいえないため、今後、積極的なプロモーションを行っていくことが重要である。
- ・また、大型のスポーツイベント（2018年平昌冬季オリンピック、2020年東京オリンピック・パラリンピック等）がアジアで開催され、諸外国の方々が東アジアや日本に目を向ける大きなチャンスであることからプロモーションを実施することにより来道外国人観光客の増加を図り、本道のスポーツツーリズムの振興を目指す。
- ・道内の各市町村においても、スポーツをきっかけとして外国人観光客誘致を図ろうする動きがあることから、こうした市町村と連携しながら誘致活動を行う。

2 事業内容

テーマ	対象国・地域	事業内容	考え方
スキー	豪州 アメリカ イギリス	・スキーイベントの開催 ・セミナー・商談会 ・旅行会社・メディア招へい	・アメリカ、イギリスはスキー人口が多く道内客が増加傾向 ・ニセコに集中している豪州客等の全道への波及を図る
サイクリング	台湾 シンガポール タイ	・道内イベントパンフレット作成 ・現地サイクリングイベント等出展 ・メディア招へい	・台湾等においてはサイクリングが人気であり、気候や景観の良さに加え、食や温泉といった本道の優位性をPR ・道内において海外からのサイクリスト誘致を進める市町村が多いことから連携して取組を進める
マラソン	中国 台湾 香港	・道内イベントパンフレット作成 ・現地マラソン大会出展 ・メディア招へい	・気候や景観の良さに加え、食や温泉といった本道の優位性をPR ・道内において市民参加型マラソン大会が多く開催されていることから、市町村と連携して取組を進める

事業実施 北海道観光振興機構

平成29年度予算額 43,822千円